

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>**8月3日時点でこの対応****8月3日 事務折衝（業務委託）報告：その2**

会社：応募者の業務内容をどのように決めるか、 組合と相談しながらこれから決めていく？

7/8 会社資料提示から、わずか4営業日後7/13に2労組は合意表明？

【JHU】業務委託に係るJFU、CCUへの資料提示は7月8日でよいか。

《会社》提示資料はあれだけだ。交渉の質疑で答えているところはある。

【JHU】7月15日（金）のJHUとの最初の交渉段階でも、具体的に決まっていな、答えられないことが数々あった。8日（金）に会社から

資料提示を受け、CCU、JFUは7月13日（水）に会社提案への合意と争議終結を表明した。土日挿入と僅か3営業日しかなく、4日後に両労組は合意を表明したことになる。

《会社》他労組との交渉なので、何月何日どうこうした等は差し控える。

<解雇争議終結の協定と業務委託契約は何故パッケージなのか？>

【JHU】乗員速報で「業務委託契約」と「解雇問題解決協定」は二つで一つと報じている。会社は2労組に二つをパッケージとして提案したのか。

《会社》そうだ。もともと乗員組合から協定案を頂いていた。今回、全員に適用できる提案を示したうえで、会社から協定案を示した。

【JHU】解決協定に合意しなければ業務委託はないというパッケージだったのか。

《会社》完全解決の為の提案として出した。

【JHU】乗員組合から出された協定案の中にこの業務委託が入っていたのか。

《会社》二度と破綻をしないことも含めた解決案でどうかと組合から事前に出ていた。

【JHU】会社が協定案を提示したのはいつか。

《会社》6月23日だ。

【JHU】「マッチング」は解決協定とパッケージではなかった。

《会社》現実問題、マッチングは手を挙げた全ての方が決まるのに時間が掛かってしまうので、今回全員が手を挙げられる内容を提示した。引き続き一定期間はマッチングも努力する。話し合いの積み上げでそうなった。

会社：「アルムナイ・ネットワーク」は使う予定もない！

【JHU】7月21日に「アルムナイ採用を実施する」「アルムナイ・ネットワークの導入を検討し、今もくすぶる整理解雇者の問題解決を進める考えだ」と報道された。7月15日交渉で、委託する業務の選択や配分を具体的にどうするかこれ

組合注：「アルムナイ」とは所謂、会社のOB、OGのことから検討すると答えていた。委託業務の選択や配分は、導入を検討している「アルムナイ・ネットワーク」を使うのか。

《会社》業務企画者の採用に関する話だ。今回の業務委託には使わない、使う予定もない。

<会社:「(業務委託は)何もしないでいいとは説明していない!」>

【JHU】 前回交渉で、会社は「業務委託は何もしなくていい」と説明しているのかの質問に、「そこまでは言っていない」「誰がそんなこと言っているのか」と答えた。その後の調べで、組合や争議団の代表者が、被解雇者組合員や支援者に対し「何もしなくていい」と説明している報告が数々あがっている。

《会社》そのような説明は組合との間で一切していない。JFU と CCU にはその事実があったのか問わなければいけない。

【JHU】 前回交渉で「そこまでは言っていない」と答えた。どの様に説明したのか。

《会社》12万5千円分の業務をして報酬を得る、これで如何かと提案した。

【JHU】 組合や争議団の代表者が「会社提案は事実上の解決金だ」とも説明している。

《会社》受け取った側が仮にそう思ったとしても、会社がその説明をしたことは一切ない。

【JHU】 そう思わせる説明があったのではないか。《会社》そんな事はない!それを言って会社が利することは一切ない。

【JHU】 それは被解雇者組合員や支援者がどの様に説明されたかによる。

《会社》会社は直接説明していない。組合の情宣にも書かれていない。

【JHU】 だが、被解雇者組合員や支援者に実際そのような説明をしている。

<「業務委託」は、仲介業者のない会社との直接契約>

【JHU】 「業務委託契約」は、委託者(会社)と受託者(被解雇者)の直接契約との認識でよいか。《会社》そうだ。仲介業者は入らない。

<委託業務:会社が委託する業務について>

会社:終結すると宣言した組合と今後具体的に話し合っていく?

【JHU】 前回の「契約形態」「委託金(報酬)」「委託契約期間」についての会社回答に対し、後ほど追加の質問をする。

【JHU】 「委託業務」の項に「委託する具体的な業務内容は、応募状況等を踏まえて会社が決定する」とある。前回15日の交渉で、会社は具体的に決まっていなかったと答えた。2週間ほど経つが決ったか。

《会社》例示した9項目の業務に基づいて、終結を表明した組合と今後具体的に話し合っていく。どれだけの人が手を上げるか今組合が確認中だ。

【JHU】 各個人によって得手不得手がある。応募者の業務内容はどのように決めるのか。

《会社》できる仕事をお願いする。

【JHU】 具体的にどうやって割り振るのか。

《会社》苦手なことをわざわざやらしてもらう事はできない。

【JHU】 マッチングや面接で決めるのか。

《会社》説明会等はするんでしょうね。

【JHU】 説明会をして、どうやって決めるのか。

《会社》それはこれから決める。説明会も含めて組合と相談しながら決めていく。

【JHU】 説明会等を行うことは他の労組に話をしたのか。

《会社》まだだ。具体的な業務内容を詰めているところで、そのうえで話をする。

会社:新しい業務に関する研修や教育訓練は考えていない

【JHU】 被解雇者は乗務員として業務を行ってきた。例示された業務は以前とは違う内容となっている。新しい業務に関する研修とか教育訓練は行うのか。

《会社》過去の経験を生かした業務を意識して探しているが、今組合に提示する段階ではない。何日も研修が必要な業務は考えていない。悩み事等があれば個別に対応させて頂く。